


(様式1)

県立高校指定校事業（平成31年度指定） 3年間計画書

学 校 名	神奈川県立光陵高等学校（  ・定・通）	校 長 名	小島 淳子
指定名	教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）		
研究主題	学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習評価の改善		
3年間の目標 （3年後のめざすべき姿）	<ul style="list-style-type: none"><li>・本校の学校目標の実現に必要な教育内容等を教科等横断的な視点で組み立てることができる。</li><li>・評価規準をつくる上で、思考を巡らす際に、自己の教科・科目の視点にとどまらず、他校種の学びや他教科の学びを生かして作成することができる。</li><li>・単元計画を作成する際に、中学校の学習内容や他教科の内容（各教科・科目等の見方・考え方など）を踏まえた評価規準を作ることができる（連携型中高一貫校としての学習のつながりを意識する）。</li><li>・総合的な探究の時間の課題設定に向けて、各教科の学びが起点となるよう各授業において多様な種をまく。</li></ul>		
3年間の 研究内容	<p><b>(1) 研究主題の設定理由とこれまでの取組</b></p> <p>新学習指導要領が告示され、観点別学習状況の評価として新たに3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）に整理された。学習評価を指導の改善に生かし、カリキュラム・マネジメントの充実を通して学校教育全体の取組みに位置付けていくことが求められていることから、「教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）」指定校としての本校のミッションを、新学習指導要領で示された各教科の「見方・考え方」を適切に捉え、より効果的・効率的な学習評価の実施と生徒の資質・能力の育成・向上を図った主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を実施することとする。また、これらの成果を他校と共有する。</p> <p>これまでの取組としては、多面的な評価の活用による組織的な授業改善の推進を行ってきた。公開研究授業や各種校内研究授業、教員による相互の授業参観等で、教員が多面的な評価に関わる実践を共有し、よりよい活用方法について協議した。このような評価を軸とした教員間の協働を通し、生徒に身に付けさせたい力や、目標達成までの手立てについての共有がなされ、組織的な授業改善へとつなげることができたことは、大きな成果である。またこれらの取組みの成果として、実用的な評価ツールとしてのルーブリックの検証と改善を行い、汎用性の高い「ルーブリック作成のためのチェックリスト」を開発した。</p> <p><b>(2) 研究の内容</b></p> <p>知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等、育みたい資質・能力の育成に向けて評価規準の質を高める。</p> <p>生徒の学習改善と教員の授業改善のフィードバックである「学習評価」について、基本的な働きの見直しを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各教科・科目等の「見方・考え方」に基づく学習評価を視点とした授業改善</li><li>・総合的な探究の時間に係る学習評価（3観点）の研究</li><li>・得た成果を各教科・科目等における「探究活動」の評価へとつなげていくことを目指す。</li><li>・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した多面的な学習活動の研究</li><li>・「思考・判断・表現」の評価を見取る、パフォーマンス課題の作成例</li><li>・定期試験の出題に係る研究</li><li>・単元計画の作成と定期試験で問う資質・能力の整理</li><li>・生徒の指導に生かす評価（いわゆる形成的評価）を行うためのポートフォリオの作成及び生徒のより深い振り返りを促す内省に向けた工夫の検証</li><li>・観点別学習状況の評価における、4（5）観点から3観点への整理</li></ul>		

	<p>(3) 成果の検証方法及び成果指標</p> <p>他教科の学び及び他校種の学びを踏まえ、教科等横断的な取組みのもと、評価規準を作成できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な教員研修を実施する。テーマにおいては「学習評価」を重点的に取り上げる。</li> <li>○公開研究授業の実施、教員対象の授業互観期間（年2回）の実施</li> <li>○生徒による各種アンケートにおいて自身の資質・能力が向上したという肯定項目の割合</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケートの項目 「授業や学校生活をとおして、社会に出て必要な思考力・判断力・表現力・問題解決能力など（「生きる力」）が身につくと思いますか。」 「とても身に付く」「身に付く」の合計が85%以上</li> <li>・魅力と特色アンケートの項目 「高校生活において、課題の発見と解決に向けて主体的に考えたり、発表し合うなどの協働的な学習活動を行うことによって、中学生のときよりも思考力・判断力・表現力を高めることができたと思いますか。」 「とてもそう思う」「そう思う」「まあまあそう思う」の合計が85%以上</li> <li>・生徒による授業評価における肯定的な回答の割合が向上。</li> </ul>						
<p>研究計画の概要</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="325 824 379 1077">令和元年度</td> <td data-bbox="379 824 1447 1077"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」に基づく学習評価を視点とした授業改善</li> <li>○手立て ・現行学習指導要領、新学習指導要領を踏まえた各教科・科目等の「見方・考え方」の整理 ・総合的な探究の時間における課題設定のための各教科・科目の情報共有 ・総合的な探究の時間における評価の検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1077 379 1330">令和2年度</td> <td data-bbox="379 1077 1447 1330"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・生徒の資質・能力の育成に向けた評価規準の設定 ・総合的な探究の時間における評価活動から各教科・科目における探究活動へ生かせる内容の整理</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1330 379 1547">令和3年度</td> <td data-bbox="379 1330 1447 1547"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 教科等横断的な視点を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・総合的な探究の時間の評価活動と各教科・科目における探究活動の評価活動の整理、検証、適正化</li> </ul> </td> </tr> </table>	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」に基づく学習評価を視点とした授業改善</li> <li>○手立て ・現行学習指導要領、新学習指導要領を踏まえた各教科・科目等の「見方・考え方」の整理 ・総合的な探究の時間における課題設定のための各教科・科目の情報共有 ・総合的な探究の時間における評価の検討</li> </ul>	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・生徒の資質・能力の育成に向けた評価規準の設定 ・総合的な探究の時間における評価活動から各教科・科目における探究活動へ生かせる内容の整理</li> </ul>	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 教科等横断的な視点を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・総合的な探究の時間の評価活動と各教科・科目における探究活動の評価活動の整理、検証、適正化</li> </ul>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」に基づく学習評価を視点とした授業改善</li> <li>○手立て ・現行学習指導要領、新学習指導要領を踏まえた各教科・科目等の「見方・考え方」の整理 ・総合的な探究の時間における課題設定のための各教科・科目の情報共有 ・総合的な探究の時間における評価の検討</li> </ul>						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 各教科・科目等の「見方・考え方」を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・生徒の資質・能力の育成に向けた評価規準の設定 ・総合的な探究の時間における評価活動から各教科・科目における探究活動へ生かせる内容の整理</li> </ul>						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 教科等横断的な視点を踏まえた単元計画の作成</li> <li>○手立て ・総合的な探究の時間の評価活動と各教科・科目における探究活動の評価活動の整理、検証、適正化</li> </ul>						
<p>研究体制</p>	<p>研究開発グループを核として、適宜有志メンバーを加えながら、企画会議、各グループ、教科、学年等と連携しながら、学校全体で研究実践を進めていく。</p>						
<p>その他特記事項</p>	<p>本校は、横浜国立大学及び横浜国立大学教育学部附属横浜中学校との連携校であり、今回の高校改革にあたっては、さらに中・高・大連携型教育を探究していく。この連携事業と関連付けて本研究の深化も図っていく。</p>						